記憶や印象に頼らず、ファクトベースで実績を可視化する

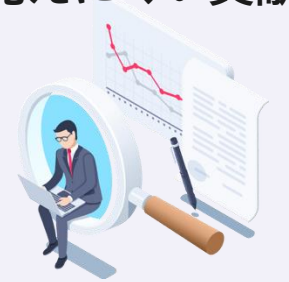
Backlog AIアシスタントで実現する活動実績ふり返りと評価面談準備術



「今期、自分は何やったっけ…?」思い出せない

完了タスクの数は見えても、相談に乗った時間、仕様や段取りのすり合わせ など“裏側の仕事”は記録に残りにくいものです。開発ならレビューや障害対応、制作なら確認・修正、CSなら問い合わせ対応。職種は違っても、目立たない貢献ほど埋もれます。

見えにくい貢献



誰かのフォロー、トラブル対応、段取り調整など、裏側の貢献がチームの記録として残りにくい

埋もれる記憶



評価面談の前に、過去の仕事を思い出そうとしても、チャットやメールに埋もれている

“ファクト”のない自己評価



明確なデータ（ファクト）がない場合、どうしても直近の印象や主観的な記憶に頼らざるを得ない

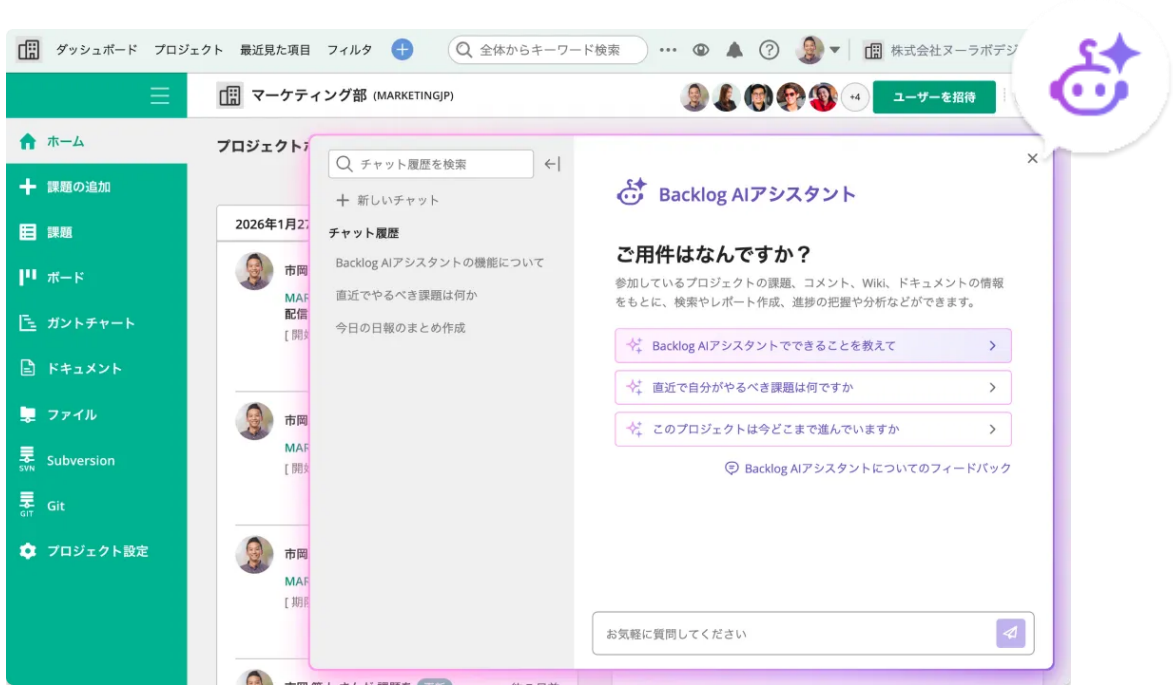
これらの課題を解決し、記憶に頼らない実績可視化を叶えるのが「Backlog AIアシスタント」です

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

「あなたのプロジェクト」をよく知っているAIです

Backlog AIアシスタント とは

Backlogに蓄積された課題やコメントなどの情報を活用し、業務を支援するAI機能です。
一般的な生成AIとは異なり、日々の課題やコメント、経緯を理解して動きます。



進捗確認
完了タスク、遅延、未解決の不具合をまとめて把握

レポート生成
週次報告・定例会議資料のたたき台を作成

ナレッジ検索
過去の課題・対応履歴・コメントを横断的に検索

評価準備
メンバーの活動実績を定量・定性に分けて整理

プロジェクト立ち上げ
過去の課題をもとに必要なタスクと担当者を提案

Backlog AIアシスタントはあなたの専属アシスタントになります

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

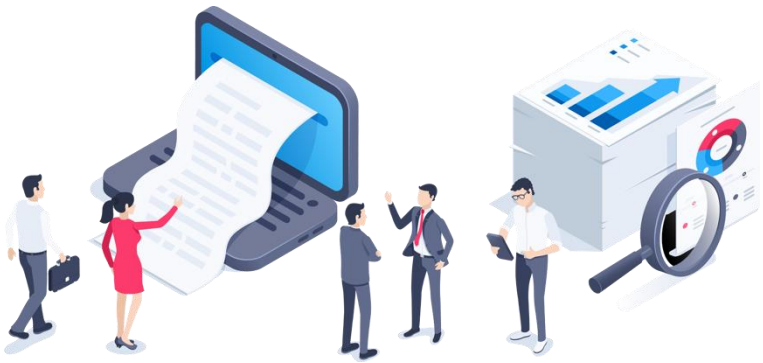
Backlogが、そのまま“あなたの実績”になる

Backlogだけでは

過去のデータは膨大で、
自力ですべてを検索・集計するのは困難

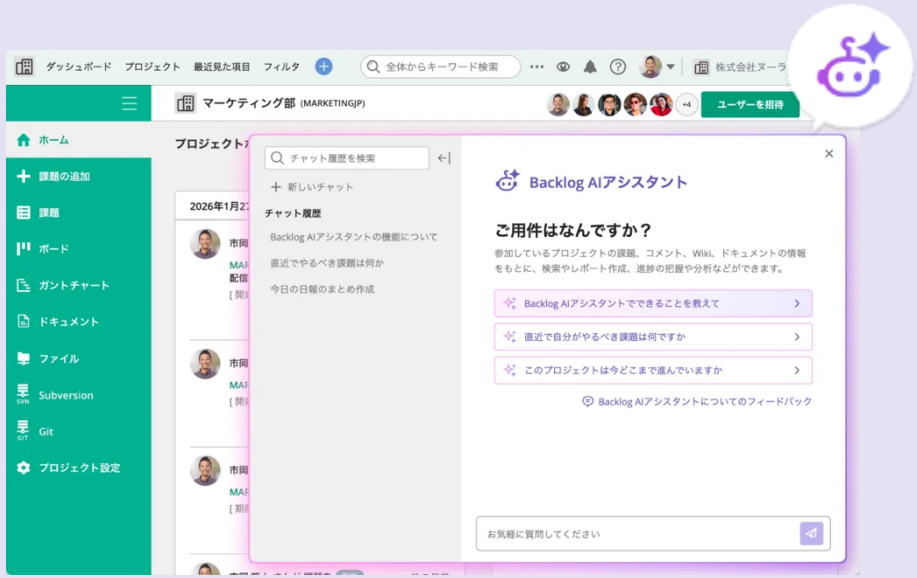
汎用の生成AIでは

自社プロジェクトの文脈や、
あなたが施した「工夫・貢献」を知らない



Backlog AIアシスタントなら

蓄積された業務データの中から、
あなたの実績や貢献を漏らさず正確に掘り起こす



©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlog AIアシスタント
活用例 ①

自分の仕事を、定量と定性で説明できる形にする

完了した課題などの定量的な成果だけでなく、誰かの相談に乗った経緯やトラブル対応、段取り調整といった「プロセスやサポート」の事実まで、AIが漏らさず整理します。

プロンプト例

今期の評価資料作成のために[〇〇 〇〇]の活動実績をまとめて。定量と定性に分けて

出力項目

【定量】
- 担当した課題数（ステータスごとの件数）
- 活動量（行った活動の分類と件数）

【定性】
- リーダーシップ・プロジェクト推進での活動まとめ
- 部門間調整・合意形成での活動まとめ

📊 定量実績

課題管理

- **担当課題数**: 11件
  - ✅ 完了: 2件（18%）
  - 🔄 処理中: 5件（45%）
  - 📋 未対応: 4件（36%）

活動量

- **課題作成**: 7件

💡 定性実績

1. リーダーシップ・プロジェクト推進

予算策定プロジェクトの主導

- 年度予算案作成プロジェクトのプロジェクトオーナーとして、親課題から子課題までの全体設計を実施
- 予算策定の方針をBacklogドキュメントにまとめ、各部門責任者への共有を完了
- 七尾さんからのフィードバックを受け、迅速に修正対応

MAツール導入プロジェクトの推進

- 各部署（マーケ・営業・CS・情報システム）へのヒアリングを実施
- 複雑な要望を整理し、フェーズ1とフェーズ2に分けた段階的導入を提案
- ドキュメント化により、合意形成をスムーズに実現

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlog AIアシスタント
活用例 ②

1on1の前に、相談したいことを整理する

直近の「進んだこと」「詰まっていること」をAIが自動で整理。
毎回話す内容をゼロから思い出す必要がなくなり、1on1を「次の一手を相談する場」に変えられます。

プロンプト例

次の1on1に向けて、直近2週間の自分の動きをまとめて。進んだこと、詰まっていること、相談したいこと、次に重点を置くことに分けて整理してください。

出力項目

- 関わった課題の内容とステータス状況
- 今詰まっていること・懸念事項
- 相談したい内容
- 次に重点を置くこと（優先度、期限など）



1on1 事前まとめ（今宮 晃 / 2026-06-04〜06-18）

✅ 進んだこと

課題	内容
KAIHATSU-246	【新規施策PJ】営業要件整理作業
KAIHATSU-247	【新規施策PJ】ToB施策要件整理作業
KAIHATSU-317	【要件定義書】レビュー指摘事項の反映
TRAVEL_CF-52	【学会運営2026】キックオフ実施・議事録ToDo
KANRI-714	健康診断の社内案内（会場確認・リスト作成完了
MARKE	
SYOUH	

また、新
全工程タ

🚧 詰まっていること・懸念事項

課題	内容
CORPORATE-63	【インシデント】顧客対応
EXHIBITION-449	集客サイトを作成する
MARKETINGDIV-130	Webinarを開催する
OKASHI-29	外箱（ダンボール）の仕様決定
ACCOUNT_SYS-10	経理システム：契約締結・発注処理

特にインシデント対応（CORPORATE-63）とWebinar（MARKETINGD
す。

💬 相談したいこと

1. **インシデント（CORPORATE-63）の収束見込み**
   → 処理中のまま1週間超経過。対応状況と次のアクションを共有したい。
2. **ベンダー依頼中の案件（EXHIBITION-449）の進め方**
   → 期限超過でもベンダー待ちのため自分でコントロールしにくい。エスカレーションの判断を相談し
3. **Webinar（MARKETINGDIV-130）の優先度の再確認**
   → 5ヶ月近く遅延しているが、このまま続けるか判断してほしい。
4. **経費精算システムの運用課題（KANRI-729）**
   → 村松さんにトスアップしたが、フォローのタイミングについて確認したい。

🎯 次に重点を置くこと

優先	課題	期限
🔴 高	SITE-4 A社 - トップページデザイン作成	6/30
🔴 高	OKASHI-29 外箱の仕様決定	6/22
🔴 高	SUB_1-2 PMケース対応	6/19（今週）
🟡 中	SEIRI-12 参加者への最終案内・出欠確認	6/27
🟡 中	TRAVEL_CF-57 【学会運営2026】会場契約（条件交渉・締結）	7/2

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

日々のタスク記録を、「成果の証明」へ

「活動の実績」をデータとして積み上げることは、健全な評価環境の土台となります。
一人ひとりの業務情報の蓄積は、やがて組織全体の改善を支える貴重な情報資産へと変わります。

メンバー



- 自己評価・成果説明の準備負担が減る
- 見えにくい貢献を、事実ベースで伝えやすくなる

チーム



- トラブル対応や調整の知見を、チームの記録として残しやすくなる
- 過去の対応履歴や判断の記録が、新メンバーの立ち上がりを早める

マネージャー



- 印象ではなく、活動の事実にもとづいて評価できる
- メンバーの見えにくい貢献も、正当に拾い上げられる

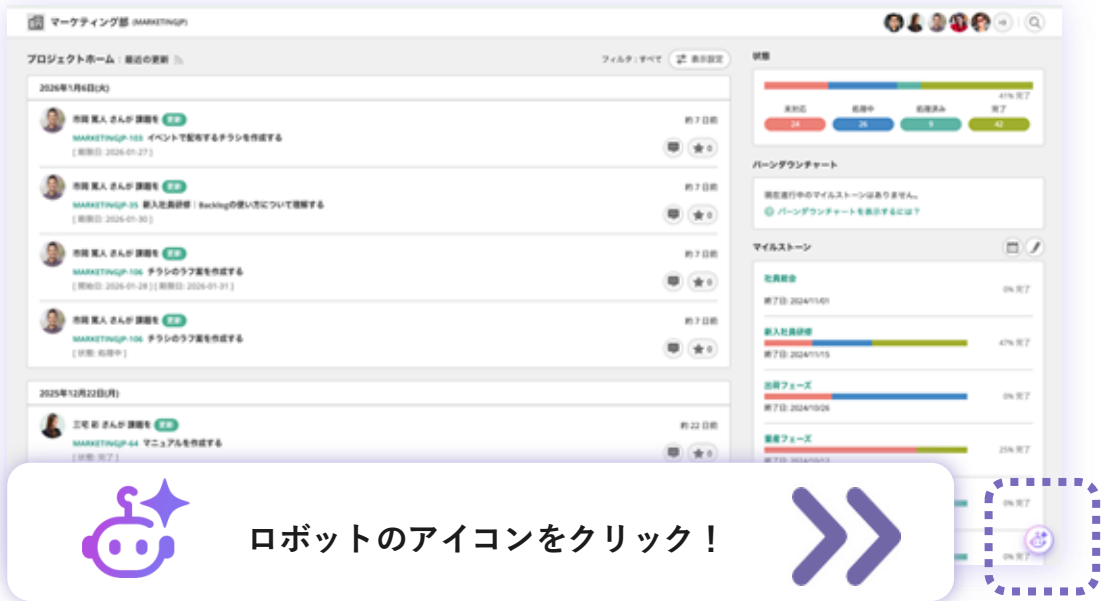
成果の振り返りにBacklog AIアシスタントを活用した事例はこちら

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

AIアシスタントを操作してみよう

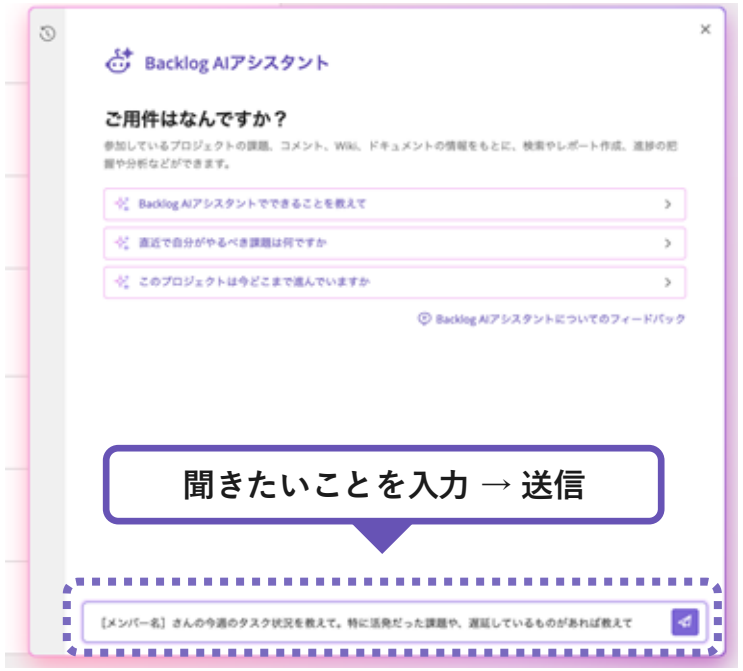
追加のツール導入もアカウント作成も不要です。いつものBacklogの中で使い始められます。

STEP 01 Backlogで確認したいプロジェクトを開き、右下のロボットアイコンをクリック



Backlog AIアシスタントが表示されていない方は、
こちらのヘルプページをご参照ください。

STEP 02 「今週の〇〇プロジェクトの進捗状況を教えてください。」と入力



今すぐ試せる、評価面談のためのプロンプトを見る

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

その報告準備、今週からAIに任せてみませんか。

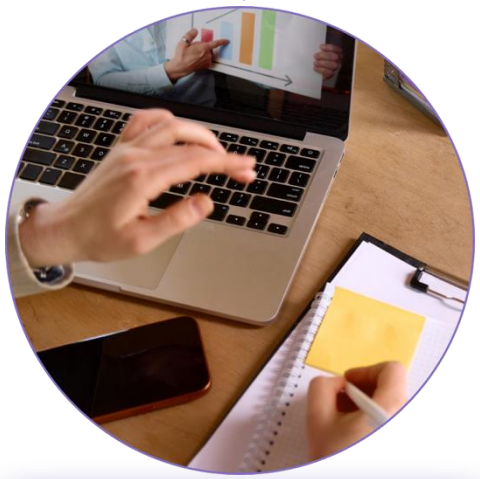
まずは活用イメージと具体的な使い方を確認してみてください。

まずは
使ってみる



30日間無料トライアル

まずは
話を聞きたい



オンラインセミナー

相談しながら
決めたい



個別相談会

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlog AIアシスタントをもっと知る

概要・料金を知りたい



資料をダウンロードする

セキュリティ面を知りたい



資料をダウンロードする

特設サイト



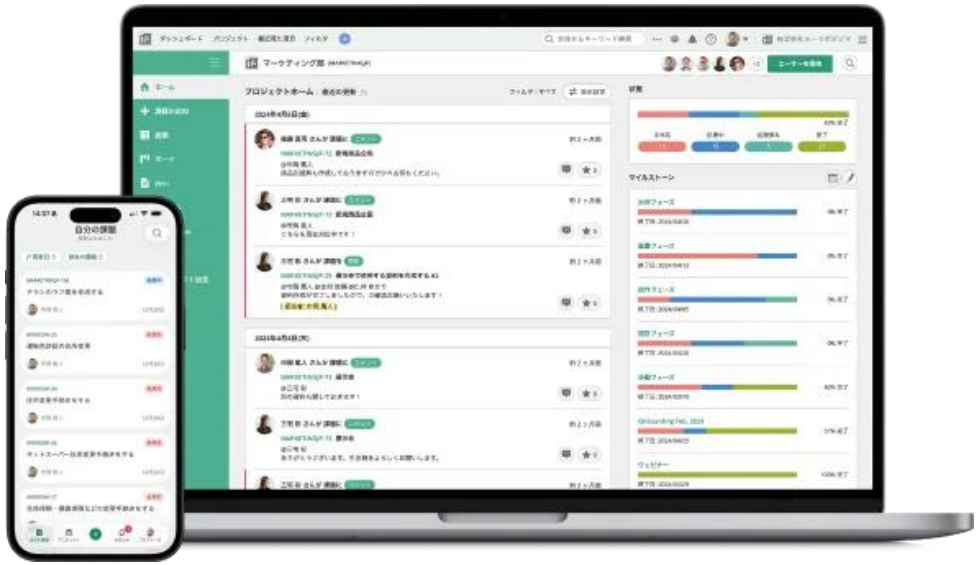
特設サイトを見る

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでタスクの記録・管理を簡単に

Backlogとは

開発、マーケティング、バックオフィスなど、職種を問わずチームのタスクを管理・共有できるプラットフォームです。
ボードやガントチャートでの進捗可視化に加え、直感的なUIでクライアントとのやり取りも集約。
社内外を巻き込んだスムーズな進行を実現します。



backlog by nulab

課題管理
タスク・課題・要件変更を一元管理。担当者と期限を明確にし、進捗を可視化

コメント
判断履歴・差し戻し理由・確認内容をタスクに紐づけて蓄積

ガントチャート
工程・スケジュールを視覚的に把握

ドキュメント
仕様書・手順書・議事録をプロジェクトに紐づけて蓄積

Git
ソースコードの変更履歴を課題と紐づけて管理。修正内容や開発経緯を把握

AIアシスタント
Backlogに蓄積された情報を活用し、課題の要約・状況整理・報告資料作成を支援

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.